

ドイツの飼養豚におけるアフリカ豚熱(ASF)発生について

7月16日、ポーランドとの国境沿いドイツ東部ブランデンブルグ州の飼養豚においてアフリカ豚熱(ASF)の発生が確認されました。

ドイツでは昨年9月以降、野生イノシシにおけるASF発生は確認されていましたが、飼養豚での発生は初めてです。

・同州の2農場(シュプレー・ナイセ地区の有機農場とメルキッシュ・オーダーランド地区の小規模農場)の飼養豚でASF陽性を確認。

・我が国は、昨年9月の野生イノシシにおける発生を受けてからドイツからの豚、豚肉等の輸入を一時停止しており、現在も停止中。



アフリカ豚熱は日本国内での発生はありませんが、空港検疫において、海外から違法に持ち込まれた肉製品等から、ウイルスの検出事例があります。

今後も海外からの肉製品等を農場内へ持ち込まないようお願いします。

また、豚熱対策と併せて、飼養衛生管理基準の徹底を引き続きお願いいたします。

飼養豚に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

県央家畜保健衛生所	宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200	FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)
県南家畜保健衛生所	栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611	FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)
県北家畜保健衛生所	那須塩原市千本松800-3
TEL:0287(36)0314	FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)